Chapter II

第二章

負傷(ふしょう)した戦士(せんし)が彼を見る。彼はセクーの頭に触(ふ)れる。次に彼の胸(むね)に触れる。彼の左肩、そして彼の右肩に触れる。「アルマゲドン」

「何をしているんだ? 」とセクーが尋ねた。

「私はお前を祝福(しゅくふく)している。アンティオキアの神の祝福を受けるために、お前の体を準備(じゅんび)しているんだ。」「体が痛い! 」と彼は叫(さけ)ぶ。

セコウは自分の体をつかんだ。痛みは激しい。光り輝く(ひかりかがやく)戦士によって、世界が彼にフィルターなしで明かされる。遥(はる)か昔に滅(ほろ)びた古代文明(こだいぶんめい)の記憶(きおく)が彼の大脳皮質(だいのうひしつ)に

©2014年 Tom Mathew & トレードマークユニバーサル社。
セクー、ザ・ハンター、そのキャラクターおよびテーマはCRMトラストの所有物です。
許可を得て使用しています。
イラストは Espiritus Libres の所有物です。
許可を得て使用しています。

移植される。今、彼はなぜ若い頃に見た聖職者たちが空を見つめていたのかを理解した。

彼は老いた戦士を見つめる。戦士は彼を見返した。「ありがとう」と老いた戦士は言い、そしてその場に倒れた。古びた筋肉が瞬時に干からび、青い骸骨が現れる。狼たちが森から青い骸骨とセクーに向かって走り出す。恐怖がセクーを駆け巡る。突然、青い骸骨が立ち上がる。その額に第三の目が開き、セクーに老戦士が悟りを得たことを示す。

「恐れるな」と骸骨が動いて言った。「私は死んでいない。私の師があなたを癒すように命じたのだ。」

骸骨は青い骨指をセクウの頭に置いた。1万年間聞かれなかった言葉が森を響き渡った。セクーの体は瞬く間に癒されていった。

©2014年 Tom Mathew & トレードマークユニバーサル社。
セクー、ザ・ハンター、そのキャラクターおよびテーマはCRMトラストの所有物です。
許可を得て使用しています。
イラストは Espiritus Libres の所有物です。
許可を得て使用しています。

「私の旅は終わった、小さな者よ。お前の旅は今始まったばかりだ」と青い骸骨が言った。「私は今、師のもとに帰る。」
「師? 」とセクーが尋(たず)ねた。「あなたの神の名前は? 」

「わからない。彼には名前がないのだ」と骸骨が言った。
「お前の神はアフラマズダの力には敵(かな)わない」とセコウが叫んだ。

「アフラマズダだって? 一体何を言っているんだ。お前のペルシャの神はアンティオキアの神には到底敵(とうていかな)わない。」彼はセクーを見つめた。「お前は若い。まだ学ぶ時間がある。」
「祈り方を知っているか? 」と青い骸骨が尋ねた。

©2014年 Tom Mathew & トレードマークユニバーサル社。
セクー、ザ・ハンター、そのキャラクターおよびテーマはCRMトラストの所有物です。
許可を得て使用しています。
イラストは Espiritus Libres の所有物です。
許可を得て使用しています。

「もちろんだ！」とセクーは答えた。「私はダレイオス王のしもべではないのか？」

「偉大なるアフラマズダ、神々の中で最も偉大な方、彼はダレイオス王を創造し、王国を授けた…」

青い骸骨がセクーをさえぎった。「アフラマズダだって？ おいおい、お前は祈り方を知らないんだな。アンティオキアで学んだ祈り方を教えてやろう。」

「どうかひざまずいてくれ」と青い骸骨が頼んだ。

セコウはひざまずいた。「祈り方を教えてやろう。祈りは簡単だ。 天にいます我らの父よ、 御名が聖なるものとされますように。
御国が来ますように。 御心が天で行われるように 地でも行われますように。

©2014年 Tom Mathew & トレードマークユニバーサル社。
セクー、ザ・ハンター、そのキャラクターおよびテーマはCRMトラストの所有物です。
許可を得て使用しています。
イラストは Espiritus Libres の所有物です。
許可を得て使用しています。

私たちの日ごとの糧を今日もお与えください。
私たちの罪をお赦しください。
私たちも私たちに罪を犯す者をゆるします。
私たちを誘惑におちいらせず、 悪からお救いください。
国と力と栄えは、 とこしえにあなたのものです。 アーメン。」

セコウはその言葉を繰り返し、「アーメン」と言った。すると、見えない青い力場が彼を包み込んだ。古代アラム語の音が丘から響き渡った。宇宙の神聖な音だった。

音の波が彼を包み込む。彼を強め、彼は再生されたように感じた。心はさえ渡り、他者への敵意が浄化された。

「立ち上がれ。立ち上がれ、セクー、ハンターよ」と輝く青い骸骨が宣言した。
「今からお前はアケメネス朝帝国の中で邪悪と戦うのだ。」

©2014年 Tom Mathew & トレードマークユニバーサル社。
セクー、ザ・ハンター、そのキャラクターおよびテーマはCRMトラストの所有物です。
許可を得て使用しています。
イラストは Espiritus Libres の所有物です。
許可を得て使用しています。

セクーは尋ねた。「どうやってそれを成し遂げるのですか? そしてどの軍でこれらの者たちと戦うのですか? 」

「おお、そうだった。すまない、忘れていた。お前には武器が必要だな」と死者の戦士の青い骨がつぶやいた。彼は骨の指をパチンと鳴らした。

青い帯が瞬時にセコウの手首に現れた。それぞれの腕輪には星が描かれ、その上に見慣れない記号が散りばめられていた。セクーはその文字の意味を理解できなかった。
「わからない」とセコウは骸骨に言った。

「見せてやろう。まずは一番上から始めて、その後中心に移動しろ。右手で左から右へ動かして、その後右手を星の中心に戻すんだ」と戦士が言った。「悪魔が現れた時には、青い腕輪が姿を現すだろう。」

©2014年 Tom Mathew & トレードマークユニバーサル社。
セクー、ザ・ハンター、そのキャラクターおよびテーマはCRMトラストの所有物です。
許可を得て使用しています。
イラストは Espiritus Libres の所有物です。
許可を得て使用しています。

「立ち上がれ、若きハンターよ。アンティオキアの方を見て、私が教えた祈りを唱えなさい。アンティオキアの神が、お前に意味と内なる平和を見出させるだろう。神がお前に力を授けるとき、お前にはさらに多くの疑問が湧くだろう。」

「でも、私には疑問がありません」とセコウは言った。

「お前には疑問が湧く。必ずな」と骸骨が言った。

青い骸骨はセクーの額に、彼が腕輪に触れるように触れた。壮大なエネルギーが死者の戦士の青い骨からセクーの体に流れ込んだ。古い戦士の追跡経験や戦闘技術がセコウの記憶の一部となり、青い骸骨の神経筋パターンがセコウのリボソームのRNAに転写された。生物学的な翻訳の過程を通じて、この遺伝情報が神経細胞、腱、筋肉の中に自由に流れ込んだ。

©2014年 Tom Mathew & トレードマークユニバーサル社。
セクー、ザ・ハンター、そのキャラクターおよびテーマはCRMトラストの所有物です。
許可を得て使用しています。
イラストは Espiritus Libres の所有物です。
許可を得て使用しています。

セクーの筋肉が劇的に成長した。大腿四頭筋が大きくなり、腕の筋肉の間の腱が分かれていった。広背筋がより際立ち、鋸のように見えるようになった。青い光が彼の周りに現れ、彼は圧倒的な存在となった。

「立ち上がれ、セクー」と骸骨が手招きした。「タラ！」

獰猛な白い狼が、ほぼ馬の長さほどの大きさで森から駆け出してきた。彼女はセクー、ハンターの前にひざまずいた。

「タラが君の仲間となる。彼女が君を導き、最も暗い夜には友となるだろう。星が空に消えたときには、彼女が夜を通して君を導いてくれる」と死者の戦士の骸骨が説明した。

その雌 狼 は血塗られたような吠え声を上げた。

©2014年 Tom Mathew & トレードマークユニバーサル社。
セクー、ザ・ハンター、そのキャラクターおよびテーマはCRMトラストの所有物です。
許可を得て使用しています。
イラストは Espiritus Libres の所有物です。
許可を得て使用しています。

「セクー、タラよ。お前たちは今、アケメネス朝の中で誰も歩んだことのない道を進むのだ。お前たちはミトラとその無限の悪魔たちの公敵となるだろう」と死者の戦士の骸骨が轟くように言った。

セクーの混乱を見て、老いた骸骨はミトラについて説明することに決めた。「ミトラは夜を支配している。ダークロードは、未来に彼に対抗しうる子供たちの魂を探し求めている。彼はその遺伝子型を嗅ぎ取ることができる。ペルセポリスの暗黒の隅々が彼の住処だ。お前はミトラが操る暗黒の力と戦うのだ。ローマに立ち向かい、東方のドラゴンたちと戦い、ダレイオス王とその家臣たちの子孫を守るのだ」と青い骨のサイクロプスが言った。

セクーは尋ねた。「どうやってミトラを見つければいいのですか? 」

©2014年 Tom Mathew & トレードマークユニバーサル社。
セクー、ザ・ハンター、そのキャラクターおよびテーマはCRMトラストの所有物です。
許可を得て使用しています。
イラストは Espiritus Libres の所有物です。
許可を得て使用しています。

骸骨は答えた。「どこにでも、捨てられた子供たちがいる場所にダークロードを見つけることができる。彼の部下たちは、特定の遺伝子型を持つ男児を探している。この遺伝子型は、北極星の放射線が胎児の第13週目の時期に当たったときだけ、歴史の中でしか生まれないものだ。

この遺伝子型はヘロデが探し求めていたものだし、ラムセスが探していたものでもある。これこそが、決して認証や知識を与えてはいけない遺伝子型なのだ。この遺伝子型には一銭の富も与えられることはない。」

©2014年 Tom Mathew & トレードマークユニバーサル社。
セクー、ザ・ハンター、そのキャラクターおよびテーマはCRMトラストの所有物です。
許可を得て使用しています。
イラストは Espiritus Libres の所有物です。
許可を得て使用しています。

「なぜこれを教えてくれるのですか? 」とセクーは尋ねた。

「セクー、お前にはこの遺伝子型があるからだ。」と青い骸骨が答えた。

「なぜ男の子だけなのですか? なぜ女の子ではないのですか? 」とハンターに聞いた。

「それはわからない。いつかまたお前に会う時が来るだろう。その時には答えがわかるかもしれない。」と困惑(こんわく)した青い骸骨が言った。

「この特定の遺伝子型は、失踪者(しっそうしゃ)の間でよく見られるものだ。いつかお前は染色体(せんしょくたい)について学ぶだろう。ペルセポリスで誘拐(ゆうかい)される子供たちは皆、似たような染色体パターンを持っているのだ。」

「家族(かぞく)は立ち上がり、嫉妬(しっと)が生まれる。家族は崩壊(ほうかい)する。ミトラはすべての文明(ぶんめい)のこの興隆(こうりゅう)と衰退(すいたい)から糧(かて)を得(え)るのだ。彼は親が子供に抱(だ)く愛から力を得る。彼はその

©2014年 Tom Mathew & トレードマークユニバーサル社。
セクー、ザ・ハンター、そのキャラクターおよびテーマはCRMトラストの所有物です。
許可を得て使用しています。
イラストは Espiritus Libres の所有物です。
許可を得て使用しています。

不確実性を利用する。不確実性は恐怖を生む。未知への恐怖こそがミトラの餌なのだ。

「ペルセポリスに近づくと、家から子供たちが連れ去られるのを目にするだろう。誰もその理由を知らない。警察もわからない。王もわからない。親たちは失望し、やがて偏執病や神経症に陥る。そして彼らは神を責めることになる。」

「ミトラはカルタゴを滅ぼした。彼はやがてローマも滅ぼすだろう。東方も壊滅させるだろう。しかしここアラビア半島では、彼の増大する力に警戒しなければならない。彼の不死の約束に惹かれる者が多い。多くの者がその幻想を追い求めて魂を失うだろう。人間が得られる唯一の不死は、アンティオキアの神への信仰だけだ。

©2014年 Tom Mathew & トレードマークユニバーサル社。
セクー、ザ・ハンター、そのキャラクターおよびテーマはCRMトラストの所有物です。
許可を得て使用しています。
イラストは Espiritus Libres の所有物です。
許可を得て使用しています。

「君の王を信じなさい。君の法律を信じなさい。それがすべてを失ったと感じる時に君を助けてくれるだろう。これは文明のためだ。ミトラが現れた時、青い腕輪は再び現れる。私の弓と斧…」骨格は自分を訂正した。「失礼、君の弓と斧も現れるだろう。それらの武器はダークロードに対してのみ使用できる。愚者や犯罪者たちに対しては、君の知恵を使わなければならない。彼らの愚行には関わらず、彼らをそのままにしておけ。君の使命はこの地をミトラから守ることだ。

「アケメネス朝は有能な行政機構を築いた。後の者たちがそれを改善している。彼らに任せておけばいい。人間の腐敗に関しては、アンティオキアの神でさえ防ぐことはできない。

「セクー、私は疲れた。君を置いていく時が来た。タラが君の仲間となるだろう。さようなら、セクー、ハンターよ」と青い骨格は言った。彼はアンティオキアの方を向いた。

©2014年 Tom Mathew & トレードマークユニバーサル社。
セクー、ザ・ハンター、そのキャラクターおよびテーマはCRMトラストの所有物です。
許可を得て使用しています。
イラストは Espiritus Libres の所有物です。
許可を得て使用しています。

青い骨格の声が日の光の中でささやいた。「塵(ちり)は塵(ちり)へ。灰(はい)は灰(はい)へ。」残された一つの目が閉じられ、青い骨は風の中でゆっくりと崩(くず)れていった。青い虹色(にじいろ)の輝(かがや)きが朝日の無数(むすう)の色彩(しきさい)の中から昇(のぼ)り、天へと駆(か)け上(あ)がっていった。

光よ。

©2014年 Tom Mathew & トレードマークユニバーサル社。
セクー、ザ・ハンター、そのキャラクターおよびテーマはCRMトラストの所有物です。
許可を得て使用しています。
イラストは Espiritus Libres の所有物です。
許可を得て使用しています。